提出日　　　　　年　　　　　月　　　　　日

**201８年度立命館大学**

**＋R校友会未来人財育成奨学金（成長支援）　願書**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな  氏名 |  | | 学部　　　　　　　　　　学科　　　　　　　　　回生研究科 　専攻　　　　　　　　　回生 | | | | | | | | | | | |
| 携帯番号 |  | | 学生証番号 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| クラブ等所属名称 |  | | | | | | | | | | | | | |
| ゼミ・研究室  所属名称等 | ゼミ・研究室名：  ゼミ・研究内容： | | | | | | | | | | | | | |
| 申請種別  （チェック☑してください） | | □　　踏み出し支援  □　　高度化支援 | | | | | | | | | | | | |
| ※本出願書類に記載された個人情報は、本奨学金の選考目的以外では使用しません。 | | | | | | | | | | | | | | |

**※他の奨学金・助成金制度に出願している場合、該当する制度にチェックしてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 他の応募状況 | □　+R Challenge奨学金　※①  □　アスリート・クリエーター育成奨学金　※②  □　学びのコミュニティ集団形成助成金　※②  □　異文化交流助成金　※② |

　※①　同一年度において併給はできません。

　※②　活動の目的が同じ場合には、同一年度において併給はできません。

|  |
| --- |
| 1. 活動テーマ　（今回取り組む活動内容がわかるように簡潔に記入してください。）**※45文字以内** |
|  |
| 1. 活動の目的について記入してください。記入の際は、以下の3点を盛り込んでください。   「活動目的」「活動目的を設定するに至った経緯」「活動の成果がどのように社会に影響を与えるのか」 |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1. 目的を実現するための、具体的な計画を記入してください。　※4月～翌年3月（時期、手段、内容など） | | | |
|  | | | |
| ④　活動にかかる費用について概算の金額を記入してください。　　総額　（　　　　　　　　　　　　　　　円） | | | |
| 内訳 | 旅費（交通費・宿泊費） | 円 | （行き先・交通手段：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 書籍代・資料代 | 円 | (内容・冊数：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 設備・備品費 | 円 | (内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 謝礼（人件費）など | 円 | (氏名・所属　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| その他費目 | 円 | （具体的名称：　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　） |
| ⑤　今回申請した取り組みは、今後の学生生活や卒業後の進路にどのような影響を与えますか。 | | | |
|  | | | |

|  |
| --- |
| ⑥　これまでの取り組みや実績  活動テーマと関わって、これまでに取り組んできたことを記入してください。また、活動の実績がある場合はそれらも記入してください。※取り組みを証明する資料があれば、コピーなどを別紙添付用紙と合わせて提出してください。 |
|  |

【高度化支援申請者のみ】

|  |
| --- |
| ⑦　活動実績を踏まえ、今回設定している課題とその課題を設定した理由および解決する方策を出来るだけ具体的に記入してください。 |
|  |

＜参考＞以下質問にお答えください。 ※選考とは関係ありません。

|  |  |
| --- | --- |
| SDGｓ※の１７の開発目標の中で今回の活動テーマが合致する内容を選んで下さい。（複数回答可能） | |
| １．貧困をなくそう  ２．飢餓をゼロ  ３．すべての人に健康と福祉を  ４．質の高い教育をみんなに  ５．ジェンダー平等を実現しよう  ６．安全な水とトイレを世界中に  ７．エネルギーをみんなに　そしてクリーンに  ８．働きがいも経済成長も  ９．産業と技術革新の基盤をつくろう | １０．人や国の不平等をなくそう  １１．住み続けられるまちづくりを  １２．つくる責任　つかう責任  １３．気候変動に具体的な対策を  １４．海の豊かさを守ろう  １５．陸の豊かさも守ろう  １６．平和と公正をすべての人に  １７．パートナーシップで目標を達成しよう  １８．あてはまらない |

※SDGsについて

　「持続可能な開発目標（SDGs）」とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

欧米をはじめとする先進諸国では、民間企業および行政がSDGsをビジネスにおける1つの指標として捉え積極的に取り組みを進めています。日本ではSDGsに対する認知度がまだ低い現状のなか、2017年1月に滋賀県は日本の都道府県で初めてSDGsに参画を表明しております。また、本学においても、2016年11月に開催された立命館地球環境委員会シンポジウムのなかで“エコ（環境保全）”から“サステイナビリティ（持続可能性）”への発想転換の必要性について提案されております。





**これまでの取り組み・実績資料添付用表紙**

※以下に必要事項を記入の上、本様式を表紙にして資料をクリップでとめて提出して下さい。添付する書類はＡ４サイズに統一して下さい。

※表彰状や新聞記事、雑誌等の発行物など、これまでの取り組みを補足する資料や、実績を証明する

資料がある場合は、添付して下さい。申請する活動で、学外の団体の活動に関わる場合は、団体の

情報もあわせて添付して下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| **資料番号** | **資料名称** |
| 資料の説明（作品名、大会名、取得年月日、活動期間、自分が果たした役割等） |
| **１** |  |
|  |
| **２** |  |
|  |
| **３** |  |
|  |
| **４** |  |
|  |
| **５** |  |
|  |

**○面接選考に関わる日程調整票**

面接を下記日程で**「朱雀キャンパス」**で実施します。

正課授業、教育実習、介護等体験、大会参加等の理由が無い限りは、**面接選考を優先**して下さい。**都合がつく時間帯に「○」を、上記の理由で都合がつかない時間帯には「×」**をつけて下さい。

面接日程は、5月29日（火）にmanaba+Rにて連絡予定です。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 6月2日（土） | 6月3日（日） | 特記事項があれば記入 |
| 午前  （9：00～12：00） |  |  |  |
| 午後  （13：00～18：00） |  |  |  |